

【社会連携・社会貢献関連事業】

【スポーツ・ツーリズムと地域活性化】生涯スポーツ実践センター協力者会議

1月31日、鹿屋体育大学で平成30年度生涯スポーツ実践センター協力者会議が開催されました。同会議は、健康づくりや生涯スポーツの普及・振興を目的として、専門的知識を有する学識経験者の方々から広く意見を求めるため、毎年1回開催しているものです。今年度は、「スポーツ・ツーリズムと地域活性化」をテーマに開催されました。

スポーツと観光の融合による地域活性化の動きは、2020年開催予定のかごしま国体・かごしま大会、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みとともに加速しつつあり、大学、地域、自治体の連携が求められている社会情勢を鑑み、国内の最新動向を共有し、地域と鹿屋体育大学の連携のあり方を探る機会として企画されました。

会議では、コメンテーターの同志社大学二宮浩彰教授の基調講演に続いて、一般社団法人島根おおだ健康ビューロー代表理事より「島根おおだ健康ビューローの取り組み」、株式会社おおすみ観光未来会議業務執行責任者より「大隅半島での取り組み」、鹿屋体育大学講師より「鹿屋体育大学の取り組み」と題した事例報告が行われました。その後の意見交換では、参加者より各々の取り組みに関する活発な質問が行われ、盛会裡に終わりました。



(公益財団法人 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団 月報「蒼天」(平成31年3月号)掲載記事